

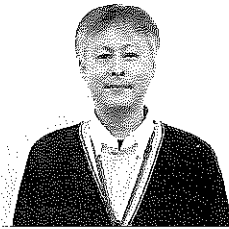
# 福祉だより

上豊富地区  
福祉推進協議会  
H30. 3月発行

いささか

成和地域包括支援センター

センター長 古田



成和地域包括支援センターは上豊富・下豊富・下川口地域の福祉や介護の総合相談窓口として、また、高齢者が住み慣れた地域で生活を続ける事ができるように地域の方や関係機関と関わりながら地域づくりを行っていく機関になります。サンヒルズ紫豊館が福知山市の委託事業として成和地域包括支援センターを委託して二年が経ちました。

まだまだ周知不足ではありますが、各地域で行われている老人クラブのいきいきサロンや地域行事に参加させていだいたり、民生児童委員の方々はじめ地域の方々との関係性を築く活動を行っています。

さて現在、福知山市の高齢化率は約

30%、上豊富においては32%に近い値となっております。今後も少子高齢化が進む中で、どのように高齢者の生活を支えていくのかという事が国の課題となっております。もちろん介護サービスが主となり生活を支えていかなければなりません。地域での支え合いといった「自助・共助の考え」も重要視されています。なかなか難しいことではありますが、顔見知りの関係で支え合いができる事は何よりも心強いサービスになり得るのかもしれないですね。私達もその中で、地域と行政や福祉サービスなどの関係機関とのつなぎ役として活動し、高齢者の方や皆様方が暮らしやすい地域づくりに携わることができればと考えております。

これから成和地域の総合相談窓口として活動していきますので、どのようなご相談でもよろしいのでお気軽にご相談いただければ幸いです。

## 「あいさつ運動」について

主任児童委員 古田

「おはよう」「おはなさい」です。

元気な声が朝から聞こえてきます。今日

は全市一斉の『あいさつ運動』（毎月十一日《土・日・祝日の時はその前後》に実施）の日。

上豊富地区も小学校の校門前と口榎原の信号の所で実施されています。参加しているのは、小学校・中学校のPTA・子ども会、公民館、自治会長会、教育委員会、民生児童委員、主任児童委員の方々です。

朝、登校してくる子ども達が、元気一杯の大きな声で挨拶してくれると、今日も一日元気に楽しく過ごそうという気持ちを感じ嬉しく思います。

挨拶にはいろいろありますが、一日の初めの朝の挨拶が気持ちよくできると、その日が楽しくなると思います。そして、声に出して言う、言ったほうも言われた方も嬉しいものです。心がほっとしませんか。お家でも、いろいろな機会にしっかりと声を出して、挨拶をしましょう。



## 「ふれあい給食」について

民生児童委員 足立

今年は何度も低温注意報が発令された程、数年に一度のきびしい寒波に見舞われた冬でした。

皆さまにおかれましてはいかがが、お過ごしでしょうか。

恒例の「ふれあい給食」を、一月二十日（土）上豊富福祉推進協議会主催で実施しました。一人暮らし高齢者・寝たきり高齢者の方に本年は九〇食用意し、自治会長様及び民生児童委員が訪問して手渡しました。訪問先の様子をうかがいながら、お変わりありませんか、今年一年が円満でよい年でと願いつつ心を込めて配りました。「いつもありがとうございます」「大変美味しかったです」と喜んで頂きました。昨年十二月にも自治会長様の主催で行われました。

毎回、サンヒルズ紫豊館関係者・食生活改善推進員・いずみ会の皆様方には多大なるご尽力を賜り誠にありがとうございます。感謝申し上げます。



高齢者がますます増加する中、ふれあいを通じて、日々、皆様が元気で暮らせます様、心豊かな安心・安全な地域である事を願っています。



## 福祉会計から読み取れる福祉活動

民生児童委員 森

現在、私は上豊富地区福祉協議会の会計をしています。この一年間の収支から読み取れる活動状況を報告したいと思います。

上豊富地区の福祉に係わる活動事業は、大きく分けて四つの活動に集約されます。まず一つ目は年間を通じた高齢者・児童に対する地域内における住みやすい地域づくりの手助けです。昨年の五月には豊富民児協災害時緊急伝達訓練を実施しました。緊急時に速やかに移動できるかの訓練です。そして小学校の登校時の見守り活動・こんにちば赤ちゃん事業・福祉だより」の発行・配布事業です。

二つ目は施設見学活動です。（これは各施設を見学することにより地域の福祉活動に貢献することです。）昨年の夏は「福

知山学園むとべ翠光園」と「みつみ福祉会三愛荘」に研修見学に行きました。研修見学のお陰で住みやすい地域づくりに役立てるものがあればどんどん取り入れていこうと思いました。

三つ目は秋の文化祭での餅つき大会です。（これは本来に手作りの餅つき大会で子ども達に喜ばれます。）地域文化祭と共催の行事で、各団体のもと保育園児・小学生など子供からお年寄りまで地元大勢の集まりにより世代間交流が図られています。

四つ目はふれあい給食です。（一人暮らし高齢者宅に手作り弁当を届けます。）紫豊館及びボランティア組織のいずみ会・食生活改善推進員の皆様のご協力によりお弁当を届けさせてもらっています。

このような年間事業を通じて大切なことは、地域の皆様が楽しく安心して暮らせる地域づくりに貢献することです。これからますますかな予算の中で、上豊富地区の福祉事業を頑張っていく所存でございますのでご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

